

コーポレートPPAを活用した阪神甲子園球場の実質再エネ100%の実現 ～阪神甲子園球場のオフィシャルエコパートナーに参画～

2024年11月20日
関西電力株式会社

当社は、阪神甲子園球場の環境保全プロジェクト「KOSHIEN “eco” Challenge」に賛同し、オフィシャルエコパートナー^{※1}として、阪神電気鉄道株式会社（以下、阪神電鉄）とともに、再生可能エネルギーの活用等の取組みを推進してまいります。

この取組みの一環として、当社、阪神電鉄および大和ハウス工業株式会社（以下、大和ハウス工業）は、本日、コーポレートPPA^{※2}に関する契約に合意しました。また、当社と阪神電鉄とは「再エネECOプラン^{※3}」に関する契約にも合意したことで、阪神甲子園球場の実質再エネ100%を実現します。

コーポレートPPAを活用した、スタジアム^{※4}の実質再エネ100%の実現は全国初となる取組みです。

具体的には、大和ハウス工業が太陽光発電設備を開発・運営し、当社が小売事業者として、阪神甲子園球場の電力の調達・供給を行うもので、2024年度内に供給を開始する予定です。

さらに「再エネECOプラン」の適用により阪神甲子園球場は、実質的に再エネ100%の電力で運用され、年間約3,000t^{※5}のCO₂削減効果が見込まれます。

当社は、お客さまとともに2050年のゼロカーボン社会の実現に貢献していきます。

- ※1：オフィシャルエコパートナーとしての正式参画は2025年4月1日からの予定。
- ※2：「Power Purchase Agreement」（電力購入契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法。
- ※3：再エネ由来の非化石証書の持つ環境価値を付加したCO₂フリーの電気料金メニュー。
- ※4：プロスポーツの興行を行う屋外競技場。
- ※5：当社の2023年度の温室効果ガス排出量排出係数 0.419kg-CO₂/kWh（調整後）から算出。

以上

別紙：本件の概要

阪神甲子園球場のオフィシャルエコパートナー※として、阪神電鉄さまとともに下記の取り組みを推進してまいります。

※オフィシャルエコパートナーとしての正式参画は2025年4月1日からの予定。



球場の環境保全プロジェクト推進

阪神甲子園球場の実質再エネ100%化
(コーポレートPPA+再エネECOプラン)

本日公表



来場者への環境意識の啓発

球場ビジョンや球場通路内のポスター掲示を通じ、来場者の環境問題への興味・関心向上

- <プロ野球開催時> メインビジョン広告 等
- <春夏高校野球開催時> 球場内ポスター広告 等
- <全期間> 球場内通路モニター 等



鉄道路線の環境保全プロジェクト推進

阪神電鉄全路線の実質再エネ100%化

太陽光発電設備による追加性※ のある再生エネルギー由来の電力供給と環境価値を提供します。

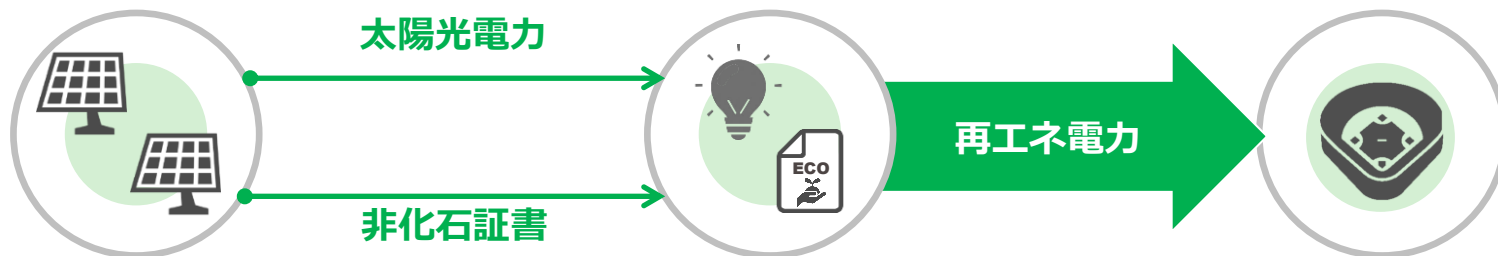
※太陽光発電所の新設など再生エネルギー総量の増加に直接寄与する価値。

発電事業者	大和ハウス工業株式会社
小売事業者	関西電力株式会社
需要家	阪神電気鉄道株式会社 阪神甲子園球場
発電出力	約700kW
供給開始時期	2024年度（予定）

発電事業者

小売事業者

需要家



阪神甲子園球場専用の太陽光発電所

阪神甲子園球場

大和ハウス工業（株）

関西電力（株）

阪神電気鉄道（株）

- 太陽光発電設備の開発・運営

- 電力の需給調整、供給
- その他電力の調達・供給

- 阪神甲子園球場にて再生エネルギー電力の受電、長期安定的な利活用

- コーポレート P P A とは、需要家と発電事業者が、新たに開発された再生可能エネルギー電力の購入契約を結ぶ電力供給・調達方法。
- 再生可能エネルギー電源を需要家の敷地内に設置するオンサイト型と、離れた場所に設置するオフサイト型がある。
- オフサイト型は、①小売事業者を介して再生可能エネルギー電力と非化石証書の双方を取引するフィジカル P P A、②非化石証書のみを取引するバーチャル P P A がある。

	オンサイト型	オフサイト型	
		①フィジカル P P A	②バーチャル P P A
スキーム			
概要	同一敷地内で、再生可能エネルギー電力を消費。	離れた場所から、小売事業者を介して、電力と非化石証書の双方を取引。	離れた場所から、小売事業者を介さず、非化石証書のみを取引。